

OUJ神奈川学習センター あきだより

通巻第52号

2012年11月17日発行

発行:放送大学神奈川学習センター

〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-1

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914



丸網抄紙機と建屋の煉瓦から作ったモニュメント(王子マテリア富士工場 2ページに関連記事)

	平成24年度学生研修旅行	2~3
	客員教授・ゼミ紹介(失った足を掻く/「影井清一郎先生」自主ゼミに参加して/8月内蒙古にて)	4~5
目次	学生生活に関するアンケート	6~7
	学習センターニュース (入学者の集い/第1学期学位記授与式/第26回神奈川学習センター学園祭フェスタ・ヨコハマ/所長主催『研究発表会』)	7~8
	Kーサポートからのお知らせ/そのほかのお知らせ	9
	学生サークルからのお知らせ/神奈川同窓会だより	10~11
	学習センターからのお知らせ	12

神奈川(あきとからい)



平成24年度学生研修旅行

Kーサポート バス研修旅行・行事チーム 村田 カズ子
Kーサポート 機関紙編集チーム 三国 留一寿

今年度は10月12日(金)大学側は先生・職員6名、学生38名(当日キャンセル4名)で実施された。

研修テーマは 東海道 一箱根磨崖仏と製紙の街を訪ねるー

①静岡の産業・製紙 王子板紙株式会社(王子製紙グループ)

②湯坂道・元箱根磨崖仏と石仏群

③箱根神社 ②と③は鎌倉期の歴史散策
行程は 横浜西口＝国道1号BP(新湘南BP・西湘BP)＝早川口の“鈴廣”でWC・休憩、買い物Pで“東華軒ちゆるぎ弁当”ピックアップし参加者に配る＝元箱根石仏群見学と昼食タイム＝箱根神社参拝＝富士、王子マテリア工場見学＝海老名SAWC休憩＝横浜西口19時過ぎの到着。

この日は東名高速道路の集中工事で渋滞が予想され道路変更をしたことで時間のロスが出たが、天候に恵まれた一日で、何事もなく安全に無事に実施できたことが何よりであった。江戸時代に整備された旧東海道、それ以前に存在した湯坂道、そして箱根駅伝で知られる現在の東海道(明治時代に造られた)と富士市への東名高速道路とまさに、テーマの**東海道“道の歴史”**をも学ぶ研修旅行でもあった。



①静岡を代表する産業の一つの製紙は豊富な木材と富士山の伏流水を利用して盛んになった。

この10月、王子マテリア株式会社と社名変更、富士工場第一工場では古紙が白板紙に再生される。この地に工場が出来てからJR“富士駅”が誕生したというくらい富士市を代表する企業であること、廃棄物を有効利用しているエコロジーカンパニーであることに参加者は深い感銘と共感を・・

2時間強の時間をかけてビデオでの工場紹介、広い敷地内をバス再乗



車で案内される。工場内は三班に分かれて製造過程を目の当たりにしての見学、最後は活発な質疑応答があり、有意義な工場見学をさせて頂いた。丁寧な対応と飲み物まで付けて頂いた王子製紙、富士工場に殊更感謝。



②国道1号線の最高地・標高874mに位置する元箱根石仏群は鎌倉仏教の道場。何度も噴火する箱根山、大涌谷に象徴される地獄のさま、そこから生まれた地藏信仰、そして極楽浄土を願う阿弥陀信仰。人々はここに石仏を造立し、箱根神社に参拝し、平穏な日々と極楽浄土を願ったのだと。

巨大な石仏群をこの地に出現させたのは鎌倉幕府3代執権北条泰時の弟の重時(5代執権時頼を補佐した)が鎌倉極楽寺に招いた奈良の西大寺の僧、石工(いしく)の集団を引き連れてやってきた良観房忍性上人である。箱根山の噴火で生じた安山岩(伊豆石)は固く、細工するには高い技術が必要であった。宝篋印塔や五輪塔の巨大な塔は関東には多くはないが、関西にはたくさん残されている。



現在はハイキングコースになっている湯坂道の精進池(しょうじんがいけ)周辺に残る

沢山の石仏や磨崖仏(岩に直接仏を彫り込む)に、先人たちのパワーと信仰心に圧倒された。

真言律宗を広めた忍性上人は病気(ハンセン病)の治療や身寄りのない人の救済、橋や道路の整備(鎌倉七口・極楽寺切通も)にも携わっている。極楽寺には「極楽寺ノ井」(粥を施すための井戸)「千服茶臼」「製薬鉢」が現存している。

③箱根神社の歴史は古い、紀元前の昔、箱根外輪山の神山(1438m)をご神体に箱根駒ヶ岳(1357m)山頂に神仙宮(神宮)を修験者の霊場として開か

れ、奈良朝の初期に芦ノ湖湖岸に里宮を移した。現在の箱根神社である。拝殿と本殿が繋がっている権現造で日光の東照宮と同じである。通常神社に参拝すると本殿より遙か険しい山中に奥の院(奥宮)が、箱根神社は奥宮は駒ヶ岳山頂にある。駒ヶ岳山頂に昭和40年頃まで屋内スケートリンクがあったがその跡地に堤康二郎氏の寄進により奥宮が建てられた。通常、参拝客は奥宮・駒ヶ岳まで足を運ぶ。駒ヶ岳に登るにはザ・プリンス箱根(ホテル)箱根園駅からロープウェイで手軽に登れる。今回は時間の都合で行くことは出来なかったが、機会があったら駒ヶ岳に登ることもお勧めする。山頂からの晴れた日の眺めは絶景であるから。



湯坂道が箱根神社へ誘ったのであろう。頼朝公も伊豆山神社との二所詣でに、信玄公、家康たち武将が繁く訪れた場所である。曾我兄弟を祀った曾我神社、芦の湖の湖底木“けけら木”(国境に植えられた木だとか)を詠んだ実朝の和歌、時空を超えた何か切ない思いがこみあげたのは私だけだろうか。

湖畔に立つ元首相吉田茂真筆の“平和”の扁額が掲げられている“平和の鳥居は”NHKドラマ『負けて勝つ“吉田茂”』が話題になっていたこともあり、講和条約に力を注いだ偉業を湖に落ちそうになりながらここで再確認。真上の文字に皆さん目を凝らしたことかと・・・。



九頭龍伝説の霊水(長命水)は拝殿の右隣に九頭龍神社新宮があり、その前に湧いている。龍の口から龍神水が飲める。九頭龍神社本宮は箱根神社とは離れており、湖尻側に鎮座。専用の船着き場があり船で渡る。

今回の鎌倉期の歴史探訪は、“いざ鎌倉へ”金沢八景から塩の道・六浦道を歩く、今年度のウォーキングの会ともフェスタ講演会の本郷先生の「中世史」にも重なり、連携が出来て有意義であったと自負している。

バス車中の濱田所長、影井先生、藤原先生方のミ

ニ講義は好評でした。これぞ、放送大学ならではのバス研修旅行と。そして、今回『紙』についてお話し頂いた植地さんのご協力に感謝します。

また、チームの未熟なところを補い、ご指導下さった奥田係長をはじめ、大学側との連携、「箱根の自然と“知る楽しみ”(王子製紙など)を十分味わえた」と感動の声に繋がったかと思えます。

さっと目を通したアンケートに記されていた沢山の感想。企画したチーム員も嬉しさの拍手ですが、一方で団体行動を守れない人へのクレーム(遅刻者)と今回は参加申し込みを先着順ではなく抽選で当否を決めたが、当日キャンセル者4名分。不可能に近いことだが補充の手立てはなかったか?との意見もありました。次回のチームの会合はアンケート確認と反省会である。有り難うございました。以上。

(村田 カズ子)

学生研修旅行という学習にふれる機会を得て、「百聞は一見にしかず」という言葉をまさに実感した。東名集中工事による渋滞回避に経路変更はあったものの、元箱根石塔・石仏群・箱根神社そして、王子製紙グループ企業への見学は、私たちにとって非常に充実した内容であった。



例年、研修旅行の申し込みは先着順で参加希望者が多いため、単位認定試験初日には満席になる。今年度は抽選方式に改められたが、私の抽選結果は落選。

後日、幸運なことに参加辞退者による繰り上げ当選となり一度あきらめかけていた研修旅行への参加、この最大の難関がクリアできた事は非常に幸いであった。

古紙のリサイクルは私たちも日常的に行っていることではあるが、その重要性を製紙工場でおおいに知ることとなった。見学前は受け身的になっていたリサイクルが視点を変えたところから考える今回の研修は大いに勉強になった。今後の生活に生かしリサイクル事業に日々貢献したい。

(三国 留一寿)



失った足を搔く

神奈川学習センター客員教授 影井 清一郎

今年度より神奈川学習センターの客員教授を務めさせて頂くことになりました。宜しくお願ひ申し上げます。拙文で申し訳ありませんが、およそ自己紹介とは言えない生い立ちを書かせて頂きます。

子供の頃から「おかしな子ね！」とよく言われました。けれど、言われたことのどこがおかしいかが自分には分かりません。実に風変わりな子でした。

小学生の時、銭湯で片足のない人に会いました。(戦争でなくされたようです。)他の子供達は気味悪がっていましたが、私はときどき背中を流しました。あるとき、「足が無くて一番困ることは？」と尋ねたら、「夜中につま先がかゆくなること」との答えでした。

大学に入った時は全てが新鮮でした。子供の頃から不思議に思っていたことがテーマになっていたからです。本業の電気工学はそっちのけで、学生運動に加わりながら無理数論からトロッキーまで学ぼうとして、危うく落第するところでした。

大学後半では数学と物理に憧れ、卒業する頃には物理を志そうと思っていました。しかし、20代の真

中で躓き、腕いた末、外国行きと共に諦めたときには30代も終わりになっていました。以来、化学工学、制御理論、ファジィ工学、物理化学、画像処理とチャレンジしてきました。どれも魅力的な手強い相手でもだに勝てません。ただ、若い頃に学んだ数学・物理とプログラミングで理論的な面を何とかこなせたことは幸いでした。

60代半ばを過ぎた今でも「自らを虜にするような魅力あるテーマを探したい」と願っています。知力も体力も衰えてなお憧れの地を求めるのは失った足を搔こうとするようなものかもしれませんが、今回放送大学で皆さんと学ぶ機会を得たことを機に、ときどき山歩きにも挑みながら、新たな夢(ファントム?)を追いかけようと思っております。



神奈川学習センター客員教授
影井 清一郎

1991年2月 シャンボール城にて

「影井清一郎先生」自主ゼミに参加して

熊坂 聡

先生のご専門はプログラミング、数値計算、画像処理とのことですが、特にこれにとらわれず、基本的なパソコンの使い方をテーマに実習室で先生が通常の面接授業並みにレクチャーして下さったこともあり、参加人数が面接授業に比べて少ないので質問などもしやすく、よりアットホームな雰囲気で行われていたようです。

C言語プログラミングのレクチャーもしていただきました。独学ではなかなか理解がはかどらない基本的なことを丁寧に教えていただきました。

画像処理をテーマにした時間では、「デジタル画像処理(デジタル画像処理編集委員会:CG-ARTS協会, 2004.)」の輪講と、実習室で実際に画像処理のプログラミングを動かすことに挑戦しました、一人で学習する時とは、また違った気づきや新たな理解が得られ非常に有意義な時間を過ごすことができました。このような機会を与えていただいた影井先生、放送大学は本当にありがたい存在です。これからもぜひ続けさ

せていただきたいと思ひます。

自主ゼミで単位はもらえませんが、純粋にパソコンやプログラミング・画像処理などの疑問を解決したい方や理解を深めたい方、またはちょっと覗いてみたいという方でも気軽に参加できます、一人で学習するのはまた違った発見や動機づけが有り、とても有意義だと思います。単位がもらえる授業とは違って、この時間内にこれをやらなければいけないという、シラバスのようなものがないので、先生に相談し了承いただければ、比較的自由にテーマを選んだりもできますし、進捗も納得いくまで比較的自由に時間をかけることができます、先生もそれに付き合ってください。

参加者として欲を言わせていただければ、少人数なのでアットホームな雰囲気なのはよいのですが、もう少し参加人数が増えればもっといろいろなことに挑戦できるかもしれません。自主ゼミ参加者とても皆様のご参加をお待ちしております。土曜日(開催日は不定)、神奈川学習センターでお会いできればと思ひます。

8月内モンゴにて

和田 充弘

中国山西省、大同でのNPO「緑の地球ネットワーク」の“夏のスタディツアー”に参加の後、列車で4時間半、内モンゴル自治区のフフホトへ、センター長の濱田嘉昭先生、中国に広い人脈をお持ちの村田忠禧先生と合流。翌日より2日間の観光。村田先生の教え子、日系の大手保険会社に勤める漢族女性の趙さんの案内で博物館、ラマ教寺院大昭寺、王昭君の墓など見学。翌日は車で3時間ほどにあるゴゴンダラ大草原へ。

季節のせいかわ草が薄く、映像で見る荘厳なモンゴルの大地ではないが、はるかかなたに連なる山なみ、遂に来たぞ。今度来たらパオにとまって満天の星空を仰いでみたい。念願の乗馬を楽しむ。



3日目、内蒙古大学外国語学部を訪問。タクシーがなかなか拾えず、例の人力駆動の三輪車が近寄ってくる。アブナイ、アブナイ、ヤバイゾ。2輪車専用道路をさかさまに走るし、車の多い通りを平気でUターンするシロモノである。「面白そうですね、乗ってみましょう」と濱田先生。案内役は御茶ノ水女子大学卒業の蒙古族のゴイハンさん。9月新学期からこの内蒙古大学で英語の教鞭をとるとのこと。なんと敷地の広いこと。学部の校舎はまだ新しく



10階建て？いや忘れた。学



部長室で挨拶と記

念撮影のあと教室へ。大学は全寮制で夏休み中なのだが、日本語科で既に戻っている2年生以上の学生およそ40名はいただろうか、女子が多い。1年生には軍事教練があるそう。ゴイハンさんによる二人のネイティブスピーカーの先生がたの紹介の後、濱田先生は「日本の放送大学」、村田先生からは「日本社会の情報の取り方」についてナチュラルスピードで講義。その間、私は先生方の講義

風景をバッチリ撮影？シッパイ。カメラが故障していた。講義のあいまに1, 2の学生に話しかけてみた。2年生だとリスニングはムリなのかな？英語や日本語の教科書やノートをのぞかせてもらう。ぎっしり書き込みしてあるし、本はぼろぼろ。よう勉強しとるといふことか。そのあと胡学部長より市内の高級レストランに接待いただき歓談。丸テーブルで私の左隣は日本文学博士のエルデゥンバートル先生、ジンギスカンの末裔？を思わせる風貌の蒙古男児である。留学中は東京のラーメン屋でバイトをした由。「イシハラ シンタロウ」をどう思いますか？と聞かれた。「一部、熱烈な支持者もいますけど、かわっている人物ですよ、私は支持してませんが、勿論」、白酒で乾杯につぐ乾杯。私は酒は付き合い程度なのにムリしちゃって、大丈夫かな、顔が真っ赤になったが、午後からの繁華街、特にイスラム教徒の地区の散策には支障がなかった。謝謝。アッラーアクバル！イスラム中学校の裏にカトリックの教会があったり、モスクでトイレを拝借。おそい時間に夜行列車で一路北京へ。



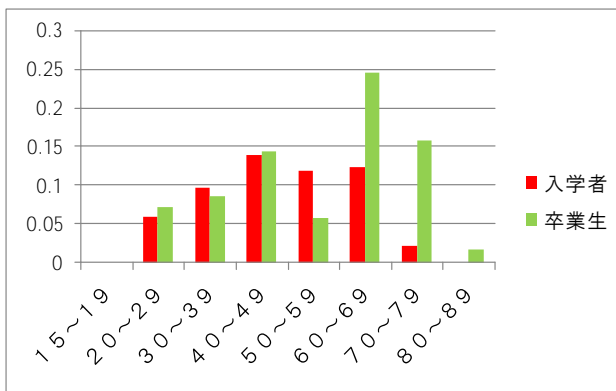
早朝の北京西駅でお二人の先生がたと別れ、ホテルで一休みの後、雍和宮の裏を南へ10分ほど歩くと、オキニイリの一角がある。若い芸術家たちがお金を出し合って、自分たちの作品を展示即売する店が数軒、いつも必ずよるのは音楽CD、映画雑誌、DVDを売っている「伝運書刊」という店。それに昔の東京の下町にあったような古ぼけた喫茶店、ここでの一服は至福のひと時。まさに”咖啡時光”。この11日間、またまた多くの中国の人たちと出会えた。

ところで、今回の旅、「大同から内蒙古へ」の旅の仕掛け人は村田先生。中国に関心のあるひとは現代中国論の村田ゼミナールで語りあいませんか。いまはチャイナ時代の、キッシンジャーの回顧録をテキストにしてみたり、様々な角度からいまの中国を知ろうとしています。考えは十人十色でも、大事なことはどれだけ正確に相手を知るかではありませんか。

平成24年10月 学生生活に関するアンケート K-サポート機関紙編集チーム

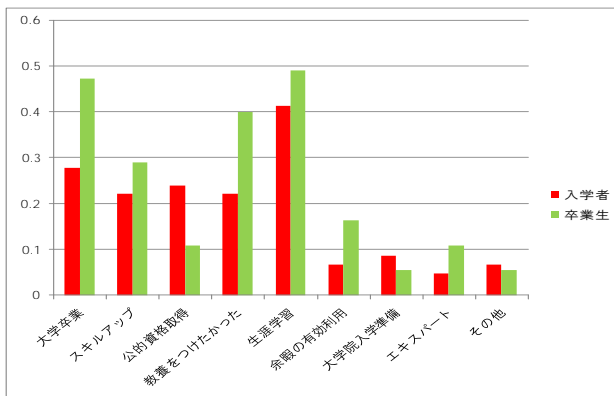
9月30日神奈川学習センターの卒業式には66名の卒業生が集いました。学習センターだより編集部では、前年度同様のアンケートを実施し54名からの回答がありました。回収率は82%。また、10月7日の入学者の集いには、新入生146名が参加、104名からの回答を得て回収率は、71%でした。

今回、入学者の集いには、初入学の方を中心に参加募集が行われましたので、その特徴もアンケートに反映されている可能性があります。はじめに、年齢構成です。(下図)10代から80代まで年代の方がいます。入学者では、

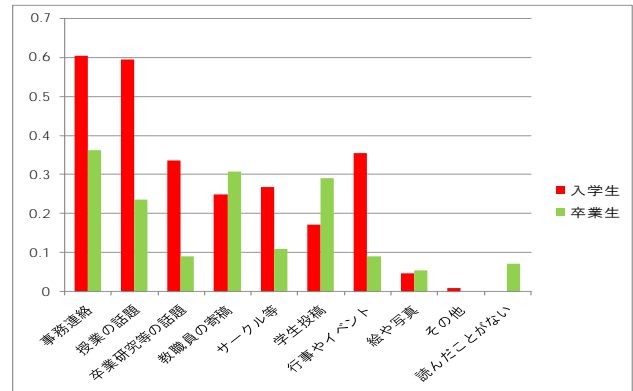


40代~60代が多く各年代に分散しています。卒業生は、60代が多い他は、幅広い年齢層を含んでいます。

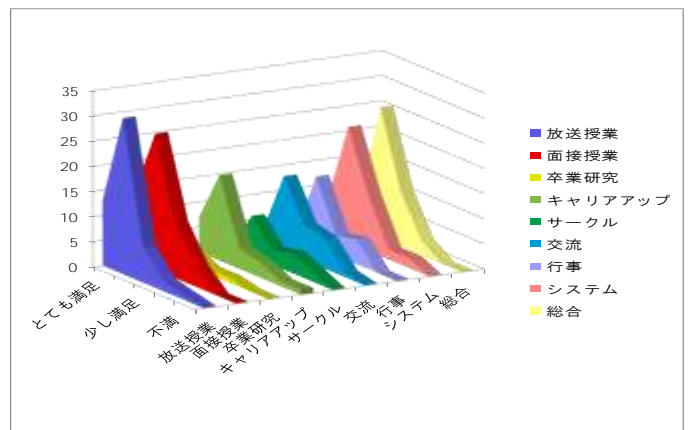
入学動機を見てみましょう。入学者・卒業生とも、生涯学習を上げた方が多くここ数年定着してきた傾向です。大学卒業、スキルアップ、公的資格等は前回減少していましたが、今年は回復しています。



本誌、学習センターだよりに期待される記事内容(右ページ)は、事務連絡、授業、と続きます。入学生に授業の記事への期待が高い特徴があります。卒業生は、先生の寄稿、学生の投稿、絵や写真、が例年より高くなっています。卒業研究や、授業記事の強化は、継続した課題となりそうです。行事イベント関連の記事は、多く掲載されているので、内容の工夫が必要かも知れません。



卒業生への設問、9つの分野に分けた満足度です。今回も、放送授業、面接授業の満足度が高くなっています。キャリアアップについては、一部にとっても高い評価(とても満足、満足)があるのが例年になく特徴となっています。また、高い評価、低い評価を含みますが、サークルに対する評価が一定程度



出ていて、サークル加入者の増加がうかがわれます。また、教職員の方、学生同士の交流についての評価されている方が増え、内容も満足度の高いものが多くなりました。今までのアンケートで特徴でした、高い評価、低い評価に2つのピークのある形から、高い評価にピークがあって評価が低いほど人数が少なくなる傾向が見られます。この数年間の、教職員、学生の協力による学習センターの改善活動が功を奏した結果とも考えられ、今後この傾向が続いてゆくことが期待されます。

○入学者-Kサポートへの要望(自由記入欄)

- ・資格取得のための科目選択や学習方法のアドバイス。
- ・放送大のシステムが分かりづらいので学生の目から見て分かりやすい「学習の手引き」がほしい。
- ・授業に関する質問をしたい。
- ・違う年代間の交流の記事が読んでみたい。

○入学者—大学、サークル、その他(自由記入欄)
 ・サークルは楽しいそうだが、年齢層が高いのでジェネレーションギャップがあるのではないか。それを逆に学びに生かせれば楽しいと思う。
 ・インターネット配信をファイルで保存できるようにしてほしい、学習の手助けとなる問題集をつくってほしい。
 ・魅力的なサークルが多いが、もっといろいろなサークルがあったらよい。

○卒業生自由記入欄
 ・様々な職種、身分の方と交流でき普段得られない知識を得られ満足です。
 ・学業を継続のモチベーションを維持するのにとても役立ちました。
 ・テレビ授業を音声だけで視聴するため、放送のはじめにタイトル、回数をアナウンスしてほしい。
 ・教科書を中心に学習しましたが、とても教養高い内容でした。
 ・図書室の開館時間を延長してほしい。

平成24年度2学期入学者の集い

10月7日(日)神奈川学習センターの入学者の集いが開催されました。今年例年異なり午後1時の開催となりました。会場には、今学期初入学方中心に146名の入学者が集まりました。濱田所長の祝辞があり、新しい分野を学ぶときは、はじめは用語も理解できないがしばらく続けていけばついてい分かってくる。勉強は孤独だが、助けに



なる仕組みとして、客員教授、K-サポート、サークルが用意されている。様々な目的で入学されていると思うが、今の気持ちを保ち続けて勉強を続けてほしい。卒業式であわせな顔に会うことを楽しみにしています。と話された。教職員紹介、学歌斉唱や、オリエンテーション、K-サポートとサークルの紹介へと続きました。



平成24年度1学期学位記授与式

9月30日(日)平成24年度第一学期の卒業証書・学位記授与式が行われました。台風17号が接近のニュースが流れる中、緊張した雰囲気の中での開催となりました。参加された卒業生ひとりひとりに、濱田所長から学位記が手渡されました。つづいて、所長からのお祝いの言葉があり、祝辞があり諸外国の人々から見ると



東日本大震災の復興はおどろくほど早いペースで進んでいる。日本は、皆に共通の認識があつてコミュニケーションがとれることに

よって、協力ができることが大きい。共通の認識を持つには生涯学習は重要である。放送大学で学んだ知識を基盤として社会に還元してほしいと結ばれた。1時間を要しない卒業式となりました。



玄関に出て記念写真を撮った後、弘明寺商店街の「あしな」で、神奈川同窓会による祝賀会が行われた。学習センター外で行われる初めての祝賀会であったが、同窓会のあたたかいもてなしと、達成感に満たされた卒業生同士の会話。これまでの道のりを思い返したり、決意を新たにしている様子だった。

少し早めの閉会を迎え、降り出した雨の中、皆足早に帰路につきました。



第26回神奈川学習センター学園祭 フェスタ・ヨコハマ

9月1～2日、学園祭「フェスタ・ヨコハマ」(神奈川サークル協議会主催)が開催された。

2日は、中心イベントとなる本郷和人東京大学史料編纂所教授の記念講演「六波羅幕府・福原幕府、そして鎌倉幕府」と交歓親睦パーティ。会場は、過去最高となる350人の参加者で溢れた。



第3回所長主催『研究発表会』

吉川 道子

平成24年9月15日(土)神奈川学習センター第4講義室にて第3回所長主催『研究発表会』が開催された。

発表者 神宮 滋 「鳥海山縁起の世界」

—平成21年度修士論文—

安達美帆子「帰国生の日本の学校への適応」

—平成23年度修士論文—

今回は修士論文二題と言うことで修士を志している人の見学者を何人か見受けた。

「鳥海山縁起の世界」は、出羽国(およそ秋田・山形県域)の最高峰、標高2236mで秀麗な独立峰で、中世以降の名称とされる。古代何度か爆発噴火があったが、勝れた山として美麗や靈妙を讃える文言

とか、その山に祀られる神仏や社寺のありがたい由来や功德を伝え見る霊山縁起(寺社縁起)の山とされる。

「帰国生の日本の学校への適応」では、まず帰国生の定義は保護者の海外赴任に伴われて、海外の学校に通学し、帰国して日本の学校に転入学した、日本国籍を持つ、児童生徒学生を帰国生と呼ぶ、から始まる。沢山の人が海外での生活を余儀なくされ、その児童が帰国した時の困難さが沢山の統計資料から見受けられる。

二題共沢山の資料、多くの実体験により発表され重みのある論文と言える。多くの質問を希望される人がいたが時間切れとなり一日を終えることになった。

ロッカー使用方法の変更について

学習センターの1階ホール、2階ロビーに設置してあるロッカーの使用方法が100円式からメダル式に変わりました。

ロッカーを使用する際は、**ロッカー使用願**に学生番号・氏名を記入し**事務室**で手続きをしてください。(学生証を提示してください。)学生以外で、所長からセンターの利用を許可された方は事務室担当者に、その旨お申し出ください。

(メダルによるロッカー使用方法及び注意事項)

- 1.事務室で受付後、メダル1枚を貸出し、ロッカー使用願(学生用)をお渡しします。
- 2.空いているロッカーに荷物と使用願(学生用)を収納し、メダルを投入し施錠します。
- 3.ロッカーの使用は**当日限り**で、**お1人様一か所**のみです。
- 4.**鍵を開けるとメダルが戻ります。**
- 5.メダル及び鍵を紛失したときは、実費(3,000円相当)を弁償していただきます。
- 6.**退所時には、事務室にメダルとロッカー使用願(学生用)を必ずご返却願います。**
- 7.メダルとロッカー使用願(学生用)を返却しない場合は、電話等で通知します。
- 8.当日中にメダルとロッカー使用願(学生用)の返却が無かった場合は、ロッカーの荷物を回収します

(学生用)

ロッカー使用願

放送大学神奈川学習センター 庶務 室

学生番号： - -

氏 名：

ロッカー用メダル 1枚 貸出日 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

(注) ロッカーの使用は、当日限りです。(鍵を開けるとメダルが戻ります)
退所時に必ず事務室にメダルとロッカー使用願を返却してください。
なお、使用出来るロッカーは、お1人様一か所のみです。

※ロッカーを使用する際は、ロッカー使用願(学生用)と「学習センター」の裏面に学生番号・氏名・住所を記入の上、事務室にて手続きをしてください。(学生証を提示してください。)学生以外で、所長からセンターの利用を許可された方は事務室担当者に、その旨お申し出ください。

メダルによるロッカー使用方法及び注意事項

- 1.事務室で受付後、メダル1枚を貸出し、ロッカー使用願(学生用)をお渡しします。
- 2.空いているロッカーに荷物と使用願(学生用)を収納し、メダルを投入し施錠します。
- 3.ロッカーの使用は当日限りで、お1人様一か所のみです。鍵を開けるとメダルが戻ります。
- 4.メダル及び鍵を紛失したときは、実費(3,000円相当)を弁償していただきます。
- 5.退所時には、事務室にメダルとロッカー使用願を必ずご返却願います。
- 6.メダルとロッカー使用願を返却しない場合は、電話等で通知します。
- 7.当日中にメダルとロッカー使用願の返却が無かった場合は、ロッカーの荷物を回収します。

(学習センター用)

ロッカー使用願

放送大学神奈川学習センター 庶務 室

学生番号： - -

氏 名：

ロッカー用メダル 1枚 貸出日 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

Kーサポートからのお知らせ

○学習相談チーム

Kーサポートの学習相談、2012年度第2学期は、**12月16日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階、談話室の相談コーナー**で行います。予約は不要です。放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。また、12月上旬に提出する「通信指導」についても、助言や指導いたします。

研究発表会等のご案内

○第5回所長主催『研究発表会』

とき 11月18日(日) 13:30~16:00

「海の世界“サンゴの生態”」

「今、日本人に求められる国際人としてのマナー」

第5回 放送大学神奈川学習センターと県央8市との公開学習会

県と市民が協働でつくる安全・安心 市民グループの取組み事例発表

主催：放送大学神奈川学習センター

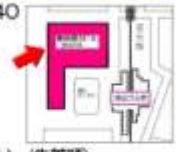
共催：厚木市・大和市・海老名市、相模原市、秦野市・伊勢原市・座間市・綾瀬市各教育委員会

日 時 平成24年11月17日(土)13:00~16:40

会 場 大和市谷学センター 多目的ホール
大和市福田2021-2 (KOZA2階)
小田急江ノ島線「高座渋谷駅」下車

定 員 200名(無料)

参加申込方法 下記の申込み先へ電話でお申し込み下さい。(先着順)



(第1部) アトラクション(よさこい囃り) 13:00~13:15 (15分)

大和市 高座渋谷よさこい「夢遊曲」 (教科編)

(第2部) 基調講演 13:15~14:45 (90分)

神奈川県の防災対策とコミュニティ
神奈川県知事 黒岩 祐治

(休 憩) 14:45~15:00

(第3部) 市民グループの取組み事例 15:00~16:40 (100分)

■厚 木 市 あつぎ災害ボランティアネットワーク 代表 土橋 秀江

『いのち』こそ宝 できていますか地震への備え』

■大 和 市 深見中原自治会 代表 望月 剛男

『うごく自治会、ひろがる自治会』

■伊勢原市 千原南自治会 代表 血野 久

『地域における自主防災の取組み』

■座 間 市 さま災害ボランティアネットワーク 代表 清田 政宏

『生き残らなければ何も始まらない』

☆展示スペース(生涯学習関係資料) 展示 13:00~16:40

【問合せ・申込み先】 放送大学神奈川学習センター

(〒232-0061 横浜市中区大岡2-31-1) 電話045(710)1910

学生サークルからのお知らせ

○神奈川放友会

情報交換を兼ねた食事会

10月14日、10月の月例会を大岡センター会議室で開催しました。

放友会では年2回(6月、10月)、新しく新会員を迎えた後の月例会を『学習に関する情報交換会』として実施しており、前回(6月)に引き続き食事会を兼ねて開催しました。

下期入会の新会員全員の参加の下、科目に関するアドバイスや資格取得に関する質問など活発な意見交換会でした。

放友会についてのお問合せ

info@kanagawa-hoyukai.jp 事務局長 高橋照夫

○韓国語同好会

★月例会 毎月第1、第3土曜日開催(原則)

場所: 神奈川学習センター講義室(当日入口のボードで案内)

10:00-11:30 中級クラスハンゲル学習・テキスト使用

11:30-12:30 親睦会・昼食タイム(全員参加)

12:30-14:00 初級クラスハンゲル学習・テキスト使用

14:00-15:00 自主学习

童話『サラバンソンニムとおかあさん』

★活動の様子は下記のHPをご覧ください。

<http://www.hangugo-club.org>

★問い合わせ: 村田(090-5797-9418)

murata@hangugo-club.org

○放大かながわレク・サークル

★パソコン部: 個人のニーズに応じた学習。

学習日時: 第2、第4木曜日 13時30分～15時30分。

場所: 神奈川学習センター 実習室: 申込制

★ウォーキング部: 月1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化 施設等も対象

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

— 会員募集中 (随時申込・受付) —

問合せ: 島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yoshiharu@coral.plala.or.jp

○人間学研究会

1. 例会

11月18日(日) 第7講義室、12月8日(土) 第7講義室、1月13日(日) 第8講義室、2月16日(土) 第8講義室、3月10日(日) 第8講義室

各日とも午後1時より開催

問い合わせ 安田武夫

TEL 045-775-0879

2. 歩きましょう

問い合わせ 大出鍋蔵

TEL 046-841-7937

○中国語学習会

☆学習日: 第一、第三日曜日

☆学習時間: 10時～12時 中級(告旭平老師)

13時～15時 初級(楊雪老師)

我が国の文化、言語などに影響を与えた国、近くて少し距離感のある国、難しいことはさておき純粋に中国語と会員間の親睦のイベントなどを楽しんでいる会です。

学習日にぜひ見学にいらしてください。

☆連絡: 万場(まんば)由美子

(046-293-5521)

○うえるかむKanagawa

英会話、英語学習、小さな国際交流、海外旅行等英語に夢を持っている人が集まり楽しく学んでいます。

☆例会は毎月第2、第4水曜日(変更もあり)。

午前中は英会話レッスン。

午後はEnglish songsとGroup study。

午前、午後とも自分に合うグループを選べます。

☆うえるかむ名画座、ゲスト講演会、懇親会、

その他色々な企画があります。

☆10月17～18日第26回アジア公開大学連合の年次大会、幕張メッセでボランティアをしました。

☆活動の様子は下記のHPをご覧ください。

<http://welcome-kanagawa.jimdo.com/>

☆見学大歓迎

問合せ: 星 045-844-9647

reikosunflower@yahoo.co.jp

○ダンスサークル（社交ダンス）

レッスン日 毎月第2火曜日と第4火曜日

時間 午後2時～4時

費用 年会費 入会時に1000円（以後毎年1000円）
レッスン料 月1500円

場所 第7講義室

その他 全科履修生は体育実技(1単位)を取得できます。

レベルの高いステップではなく基本的なステップの組合せで楽しく踊る！を目標に練習に励んでいます。ダンスを始めてみましょう!! きっと新しい世界が開けますよ!

お問い合わせ 放送大学ダンスサークル 宮川
Tel.045-933-9753

○神奈川合唱団

楽しく一緒に唱いましょう。

今年、学位記授与式にNHKホールにて学歌を唱いました。発声法に特に力を入れた指導を受けています。また“歌声喫茶”を設け仲間との親睦を深めています。気軽に見学においで下さい。

場所 大岡地区センター(神奈川学習センターの向い側)

第1、第3水曜日 午後6時～8時30分

連絡先 家田 0466-34-7545

赤松 044-288-0655

○資格取得研究会

看護・福祉分野を中心にキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、大学卒を目指す看護師の方、看護師国家試験を受ける方、医療関係、福祉関係のキャリアアップや認定心理士を取られる方などで構成されています。内容は例会(情報交換)と講演会の聴講、見学会など。

これからの例会予定

・12月8日(土)16:00 第6講義室

・1月13日(日)14:00 第4講義室(予定)

会費: ¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

神奈川同窓会だより

『放送大学叢書』販売についてのお知らせ

神奈川同窓会では、センターでの放送大学の叢書販売を通じて、放送大学の知が社会に役立つようお手伝いしております。その収益金は全て同窓会の社会貢献活動の一環として、「あしなが育英会」に寄付し、子どもたちの進学のために使われます。皆様多数のご協力をお願いいたします。

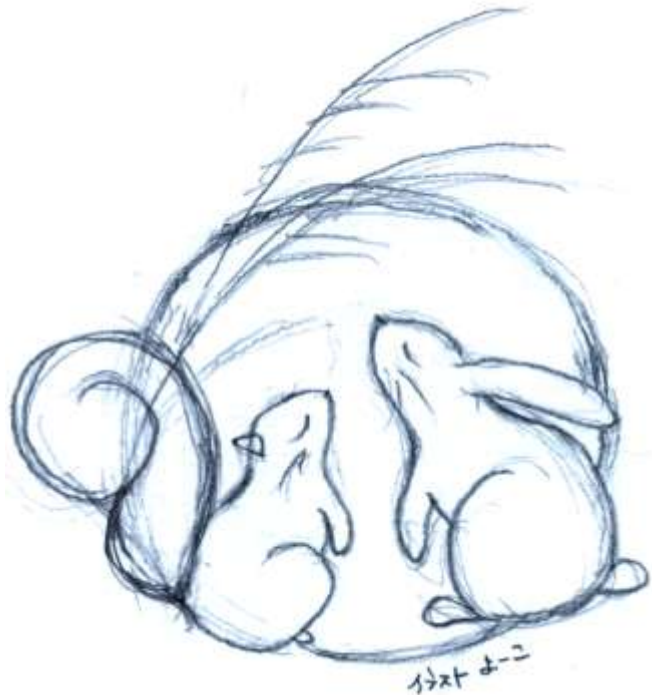
1. 行事にあわせた販売コーナーの設置

学習センターの行事に合わせて、放送大学叢書の販売コーナーをセンター内に設置いたします。年内は、販売コーナーの設置の予定はございません。

2. 叢書販売担当の登校に合わせた販売

上記の販売コーナーの設置の他、叢書販売担当の登校日には叢書販売につき個別対応させていただきます。個別販売に関しましては、事前に担当までご連絡をいただくと助かります。

担当 西山 電話 090-9647-6300



OUJ神奈川学習センターだより編集部

赤松、家田、入江、遠田、笠井、吉川、木下、笹崎、三國、和田

(50音順、以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

石塚(学習センター事務局)

カット絵は、よーこさんの作品です。

学習センターからのお知らせ

◆面接授業科目の追加登録について◆

平成24年度第2学期面接授業科目の追加登録受付は下記のとおりです。(教養学部生)。
追加登録の手続き方法は、「平成24年度第2学期面接授業時間割表」をお読みいただくか、または「各学習センター」へお問い合わせください。

科目登録決定後に空席がある科目については、追加登録期間中に、科目の登録を追加することができます。

原則として、各科目の開講日の1週間前までに受付をしておりますので「仕事の都合が直前までわからなくて科目登録を見送った」方も、この機会を活かして面接授業にご参加ください。

<平成24年度第2学期 追加登録 日程>

空席発表日	10月17日(水)	
追加登録期間*1 期間*1	10月~1月 開講の授業	10月24日(水)~科目ごとに定められた追加登録受付期限日*2まで (原則として開講日の1週間前、一部例外あり*3)
	2月開講の授業	10月24日(水)~1月15日(火)まで

*1 追加登録期間前に開講する科目については、追加登録は行っておりません。

*2 各科目の追加登録受付期限日については空席発表時に、キャンパスネットワークホームページに掲載します。追加登録受付期限日の前であっても、定員に達し次第、受付を締め切ります。

*3 授業準備の都合上、追加登録を受付けない科目、または1週間前まで受けられない科目がありますのでご了承ください。

◆通信指導について◆

平成24年度第2学期放送授業の「通信指導」提出期間は下記のとおりです。11月5日(月)までに通信指導が届かない場合は、大学本部(043-276-5111)に連絡してください。

提出期間：11月14日(水)~11月30日(金)大学本部必着

※ 提出期限を過ぎて到着したものは受理できませんので、余裕をもって送付してください。

※ 通信指導の評価結果により、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。



◆学生募集について◆

学ぶ喜びをより多くの方々に知っていただきたいと思い皆様のご家族・ご友人・知人に放送大学の魅力や利用方法をご紹介下さるようお願いいたします。(お一人ご紹介で1点プレゼントの「ご紹介キャンペーン」実施中です。)

【平成25年度第1学期入学(4月入学)の教養学部生、大学院修士選科・科目生】

募集要項配布期間：12月1日(土)~2月28日(木)

出願受付期間：12月1日(土)~2月28日(木)